



三郷市立北中学校
挨拶一番 授業一番
花一番 清掃一番 歌声一番
第3学年 進路通信
平成29年2月27日
第58号

平成29年度埼玉県公立高等学校入学者選抜におけるインフルエンザ等への対応について

埼玉県教育委員会から、次のような通知が届いています。ご確認ください。

インフルエンザ、ノロウイルス感染症については、慎重かつ広範な対応が求められています。そこで、平成29年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の実施にあたっては、次のとおり対応することとします。

- 1 学力検査を受検できなかった者の選抜における扱いについては、「平成29年度埼玉県公立高等学校入学者選抜要領」に従う。(下記「参考」参照)
- 2 志願者は、日頃から手洗い・うがいの励行、マスクの着用、咳エチケットの徹底、その他自己の健康管理を行い、体調を十分に整えて学力検査に臨むこと。
- 3 家族など身近な者に罹患した者がいる志願者は、学力検査当日にマスクを着用するなど、感染予防に努めること。
- 4 学力検査当日に発熱・咳・嘔吐等の症状がある志願者は、志願先高等学校でその旨を申し出ること。この場合、志願先高等学校は別室受検等の措置を講じること。

なお、今後、インフルエンザ、ノロウイルス感染症等の感染が急激に拡大したり、ウイルスの性状が変化するなど病原性の増大等が生じたりした場合は、この対応を改めて見直すこととします。

参考 平成29年度埼玉県公立高等学校入学選抜要領

(2) 特別な事情を有する志願者の選抜

ウ 病気その他やむを得ない事情により、学力検査等を受検できなかった志願者の選抜に際しては、その事由を証明する書類を提出させ、当該志願者に不利にならないよう留意し、各高等学校で取扱いを定める。

中学最後の期末テストが今日から始まりました。「入試のリハーサル」としての意識をもって、テストに臨むことができたでしょうか。期末テストはあと1日。最後まで気を抜かずに取り組みましょう。「埼玉公立の学力検査日」がいよいよ3日後に迫りました。これからの時期、とにかく「基本の最終チェック」と「面接練習」あるのみ。勉強面では、今から新しいことにチャレンジという時ではありません。ここまできたら、とにかく「基本問題は絶対に落とさない、間違えない」ということが大切です。

ここからの時期、特に気をつけなければいけないのは「健康管理」です。入試Q&Aには「別の日に再試験などを実施することはできません。**当日、病気などやむを得ない理由で欠席した場合は、その事由を証明する書類(欠席届等〔※北中で用紙を用意しましたので、その用紙に記入してもらいます。〕を原則として中学校長を通して、当日までに提出してください。**選抜においては、不利にならないよう留意して各高等学校で取扱いを定めます。」とあります。また、上の通知の4番目には「学力検査当日に発熱・咳・嘔吐等の症状がある志願者は、志願先高等学校でその旨を申し出ること。この場合、志願先高等学校は別室受検等の措置を講じること。」となっていますので、「**体調が悪くても受検に行かなければ合格はない**」と**考えておきましょう**。そうならないために、手洗い・うがい・睡眠・食事などに細心の注意を払い、ベストな体調で受検できるよう、万全の体制を整えておくことが何より大切です。

面接のある高校は、「面接対策」を完璧にしておこう！

一部の高校では、学力検査に加えて「面接」が実施されます。面接は、「**学力検査や文字には表れない自分の良さや高校に入学したいという気持ちをアピールできるチャンス**」です。その高校を志願する熱い思い、その高校で頑張りたいこと、将来の夢、中学校での授業や部活動、学校行事への熱心な取り組みなど、数字や文字には表れない自分の良さや決意を伝える絶好のチャンスなのです。

また、面接を実施しない高校が多い中で、「**あえて実施するということは、それだけ「面接」を重視している**」といっても過言ではありません。

県公立入試まであと3日。今から教科の点数を20点や30点も上げるのは至難の業かもしれません。しかし、**面接の得点を20点や30点上げるのは、教科の点数をあげることもよりずっと可能性があるはず**です。北中生が受検する高校の選抜基準の面接の欄をいくつか見てみると・・・、

○越谷総合技術高等学校・・・「面接においては、**学科に関する理解と受検生の意欲や態度を評価**する。」

・第1次選抜（80％）面接**50点** ・第2次選抜（20％）面接**100点**

○草加西高等学校・・・「面接を実施し、**受検生の意欲・態度を評価**する。」

・第1次選抜（80％）面接**50点** ・第2次選抜（17％）面接**50点**

○三郷高等学校・・・「面接を実施し、**受検生の意欲・態度・姿勢等の積極性を評価**する。」

・第1次選抜（60％）面接**100点** ・第2次選抜（40％）面接**150点**

○三郷北高等学校・・・「面接を実施し、**学習及び進路実現への意欲・態度を評価**する。」

・第1次選抜（80％）面接**50点** ・第2次選抜（15％）面接**100点**

○三郷工業技術高校・・・「面接では、**受検生の目的意識・意欲を積極的に評価**する。」

・第1次選抜（80％）面接**100点** ・第2次選抜（20％）面接**100点**

○八潮南高等学校・・・「面接を実施し、**受検生の意欲や態度等を積極的に評価**する。」

・第1次選抜（70％）面接**50点** ・第2次選抜（30％）面接**70点**

○春日部高等学校（定時制）・・・「面接を実施し、**受検生の意欲・態度を評価**する。」

・第1次選抜（80％）面接**200点** ・第2次選抜（20％）面接**400点**

○吉川美南高等学校（定時制・総合学科Ⅱ部）・・・「**面接を重視し、志望の動機及び受検生の目的意識、学習への意欲や興味・関心、態度や礼儀を積極的に評価**する。」

・第1次選抜（70％）面接**200点** ・第2次選抜（25％）面接**300点**

となっています。**どの学校も「重視する」、「積極的に評価する」と書かれていたり、配点が高くなっているのが分かります。**面接の100点も教科の100点も同じ100点分です。1教科の平均点が50点位だとすれば100点だと2教科分の得点が面接で取れるということです。つまり、「**入試の結果は、面接の良し悪しによって大逆転もできるし、されることもある。**」ということです。少しくらい学力検査でミスをしてしまったとしても面接が完璧なら合格が見えてきます。その逆に、学力検査が良くても面接がダメだったら合格は厳しくなるということです。「意欲・態度・姿勢」「学習意欲」「進路実現」「目的意識」「積極性」など、各学校のキーワードにあるように、「**挨拶・姿勢・態度・所作**」はできて当たり前。それだけでなく、「**志望理由**」「**入学後に高校で頑張りたいこと**」「**将来のために頑張りたいこと、身に付けたい力**」などが自分の言葉としてはっきりと言えることが特に大事です。モジモジ・ソワソワでは困ります。また、専門学科の場合は、「**学科の理解**」とあるように、その学科の特色や得られる技術・資格を将来の目標と結びつけて具体的に質問されます。パンフレットや説明会の資料、「**活性化・特色化方針**」などをしっかり熟読して、その高校がどんな生徒に入学してほしいと考えているか（高校側の期待する生徒像）をしっかり押さえて、「**その学校に入りたい**」という気持ちを強くアピールできるようにしましょう。油断大敵です。何度も何度も練習あるのみです。